

みちのく霊山へ
あなたをいざなう

ものがたり



北畠顕家卿

霊山今昔

りょう
ぜん
こん
じゃく

福島県伊達市

北畠顕家卿
歴史めぐりマップ



だてハーブ鶏
デミシチューセット



伊達鶏釜飯

道の駅
伊達の郷
りょうぜん

このおいしさは
ダテじゃない!

山間と農村に浮かぶ道の駅は、
旅人と地元の人が行き交う「宿
場」であり、伊達の美味しいも
のに出会える「ビストロ」でも
あります。こだわりの「伊達食」
を思う存分めしあがれ!



買ってうれしい
「伊達みやげ」も
たくさん!

所 霊山町下小国字校町3-1
P あり ☎ 024-573-4880
休 1月1日 (他、臨時休館日あり)
※ 東北中央自動車道 (相馬福島道路)「霊山IC」そば

初代
朝宗

伊達市観光案内所

道の駅「伊達の郷りょうぜん」内

お問い合わせ 080-4409-4978

一般社団法人 伊達市観光物産交流協会

☎ 024-529-7779

観光情報ポータルサイト だてめがね 検索



福島県
伊達市への
アクセス



霊山と北畠顕家の年譜

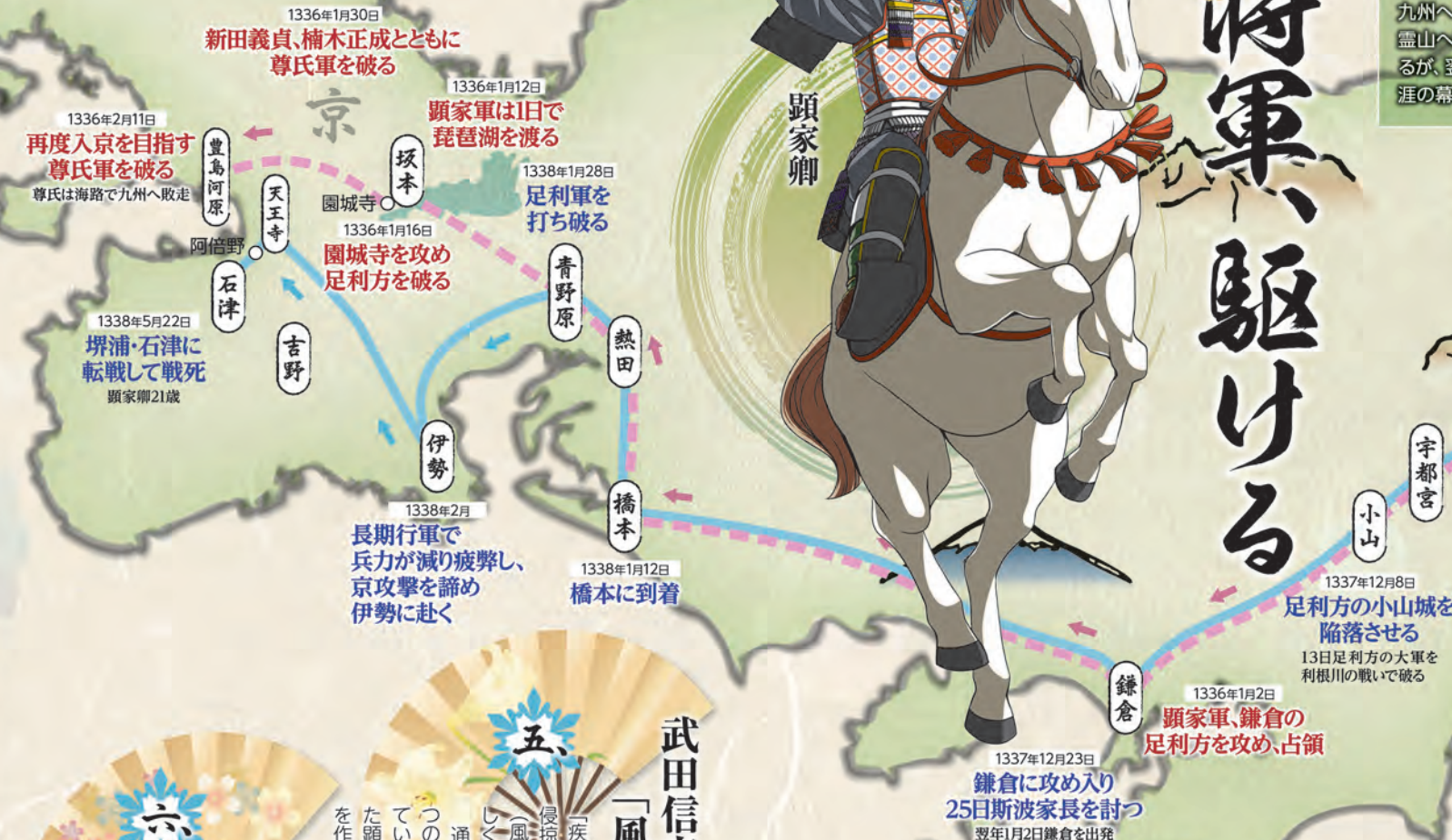
◆青字=霊山の主なできごと

※南北朝時代の年号は(南朝方/北朝方)の順

平安時代	859 (貞観元)	天台宗の僧、慈覚大師円仁が霊山を開山する
	869 (貞観11)	陸奥国東方沖を震源とした貞観地震が発生する
	1189 (文治5)	奥州合戦が起こる
	1192 (建久3)	征夷大將軍 源頼朝、鎌倉幕府を開く
	1318 (文保2)	北畠顕家、京に生まれる
	1324 (正中元)	後醍醐天皇による倒幕計画が発覚、関係者が処分される(正中の変)
	1331 (元弘元/元徳3)	後醍醐天皇、再度倒幕計画を企てるが失敗、翌年に隠岐島へ流される(元弘の乱)
	1333 (元弘3/正慶2)	鎌倉幕府が滅亡、後醍醐天皇が政権を握る(建武の新政)
	1335 (建武2)	顕家、陸奥守に任命され多賀城へ下向
	1336 (建武3)	1月 顕家勢、京都の尊氏勢を破る 3月 顕家、鎮守府大將軍の称号を得て奥州へ戻る 8月 尊氏、北朝を立てる 11月 尊氏、「建武式目」を制定し室町幕府を樹立 12月 後醍醐天皇、吉野へ逃れ南朝を立てる
	1337 (建武4)	1月 顕家、国府を多賀城から霊山に移す 5月 北朝方の霊山攻めが始まる 8月 顕家、尊氏を討つため再度出陣する
	1338 (建武5)	5月 顕家、和泉国石津にて戦死する
	1339 (建武6)	顕家の父・親房、南朝の正統性を主張する「神皇正統記」を執筆する 後醍醐天皇崩御。義良親王が後村上天皇として即位する
	1347 (正平2/貞和3)	霊山城が落城する
	1351 (正平6/観応2)	顕家の弟・顕信、親応の擾乱(足利尊氏と弟・直義の争い)に乗じて一時的に多賀国府を奪還する
	1353 (正平8/文和2)	顕信が守る宇津峰城が落城、南北朝の戦いが事実上終結する
	1392 (元中9/明徳3)	足利義満の主導で南北朝が合一する
	1401 (応永8)	伊達氏が霊山寺を再興するが、50〜60年ほどで火災により焼失
	1467 (応仁元)	応仁の乱が起こる
	1640 (寛永17)	霊山寺、寛永寺末寺として現在の場所に復興する
	1881 (明治14)	北畠顕家をはじめとする北畠一族を祀った霊山神社が創建される
	1934 (昭和9)	5月1日、「霊山」が国の史跡および名勝に指定される



北畠顕家卿の上洛遠征路



北畠 顕家(きたばたけ あきいえ)

文保2(1318)年、「神皇正統記」を著した北畠親房の長男として京に生まれる。年少の頃から有能ぶりを発揮し、さまざまな官職を歴任。16歳で陸奥守を命じられると、後醍醐天皇の皇子・義良親王を奉じ、多賀国府で奥羽地方を治める。建武2(1335)年には鎮守府將軍となり、反旗を翻した足利尊氏を追撃するため上洛。翌年に尊氏を九州へと敗走させる。延元2/建武4(1337)年、南朝の勢力を立て直すため国府を霊山へ移す。同年、後醍醐天皇の要請で再度、足利討伐の兵を挙げて各地を転戦するが、翌年和泉国(大阪府)石津で戦死。享年21歳。後醍醐天皇と南朝に尽くした生涯の幕を閉じる。

南北朝時代とは

1336年から約60年間にわたって、朝廷が2つ存在した時代をいう。1333年、後醍醐天皇は、鎌倉幕府に不満を持つ武士を味方に付けて倒幕に成功すると、公家と武家の直接支配を目指して「建武の新政」を開始する。しかし恩賞に不公平があり、政局の混乱を招いたため、足利尊氏が反旗を翻すと不満を持つ武士があとに続いた。尊氏の後醍醐天皇と対立する光明天皇を立て(北朝)、室町幕府を開くと、後醍醐天皇は吉野へ移り、皇統の正当性を主張した(南朝)。

乱世に咲いた陸奥の花

顕家卿エピソード

村上源氏の流れをくむ名門

「北畠氏」は、村上天皇の第七皇子・具平親王の子、師房の子孫だ。師房は初めて源氏の姓を与えられ「村上源氏」を称したこと知られる。北畠氏の家紋は、源氏の家紋と同じ「世帯胆紋」である。

戦う公卿

公卿の身でありながら、武將としても優れた手腕を発揮した顕家卿。最初に足利尊氏討伐の兵を挙げたときは、荒々しさで有名な奥州武者を率いて600kmの道のりをわずか半月で駆け抜けている。歴史上の強行軍は、豊臣秀吉が明智光秀を討つため、約200kmを10日ほどで移動した「中国大返し」が有名だが、これを遥かに超える速さだった。

文武両道、早熟の天才

顕家卿は、もともと文武両道の天才だった上、教養豊かで政治的にも優れた父・親房の教育を受けて育った。その才能は幼い頃から認められ、史上最年少の14歳で参議(朝廷の最高機関で大臣と政策を審議する役職)に昇進した。

顕家卿美青年伝説

顕家卿は美青年という伝説があるが、残念ながら具体的な証拠が残っていない。しかし14歳の頃、後醍醐天皇に陵王の舞を披露した際の記録に「形もいたいけして、けなりげに見え給いに(幼くてかわいらしく、態度は堂々としている)」とあり、人目を引く存在であったと想像できる。

武田信玄より前に「風林火山」の旗印を使用?

「疾き(はやき)こと風の如く、徐か(しずか)なること林の如く、侵掠(しんりやく)すること火の如く、動かさること山の如く」(風のように素早く動く、林のように静かに構える、火のように激しく侵略する、山のようにどしりと動かない)通称「風林火山」は、中国の兵法書「孫子」が示した戦場での4つの心構えのこと。戦国大名・武田信玄が用いたことで広く知られているが、元祖は顕家卿だったという説がある。当時の知識人だった顕家卿の父・親房が、戦場での心掛けとして「風林火山」の御旗を作って手渡したとしても不思議ではない。

後醍醐天皇に苦言を呈する

後醍醐天皇の「建武の新政」は、やがて君主独裁制に傾いていった。天皇と南朝の未来を真剣に憂う顕家卿は、戦死の7日前に陣中で7項目にわたる政治意見書を呈したためである。「この意見を聞き届けていただけなければ、天皇のもとを辞して山中にこもりまう」という結びの一文からは、今、政治を何とかしなければという強い覚悟が感じられる。

顕家卿を祀る神社

伊達市の霊山神社以外にも、顕家卿を祀る神社があります。大阪府の阿部野神社は、顕家卿と足利軍が戦った古戦場跡に社を構えます。三重県の北畠神社は、顕家卿の弟・顕能が主祭神で、その末裔が江戸時代に創建しました。

南北朝時代の城

天守閣があり堀に囲まれた城は、戦国時代以降に現れました。それまでは、戦に備えた城というと、天然の要害やすでにある建物を転用した臨時的なものでした。霊山城も霊山の断崖と寺院群を利用しています。



夏の広瀬川で



駒止めの松跡

伊達平野を見渡す小高い丘にすくくと笠の形が美しい赤松がありました。源義家や義良親王（のちの後村上天皇）がここに馬（駒）を休めたといわれています。



伊達市保原 歴史文化資料館

郷土に関する歴史や文化資料の収集・保存・整理につとめ、伊達市の歴史を発信する施設として、常設展示のほか企画展示などを行っています。
保原町大泉字宮脇265 伊達市保原総合公園内
TEL/FAX 024-575-1615
開館時間 午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
休館日 火曜日（火曜日が祝日の時はその翌日）、年末年始（12月28日～1月4日）
観覧料 大人210円、小中学生100円



宮城県 伊達市 雲山城跡

南相馬市 鹿島区 江島神社

峰屋パン店

地元の人に愛され続ける、まちの小さなパン屋さん。昔懐かしい銀のトレーに、クリームたっぷりのぼうしパンやピーナッツパン、サラダパンなど人気のパンが並びます。ふんわりもちりの食感が特徴です。



宝財踊り
南相馬市鹿島区の日吉ひよし神社に伝わる芸能です。霊山落城時、桑折こおり五郎ら13人は頭家卿の愛妾・松代の方と遺児を守り、鹿島へ落ち延びたといいます。その際、ありあわせの道具を手に七福神に扮して踊りながら、敵の囲みを逃れました。この様子を伝えるのが宝財踊りといわれています。

霊山散歩

一般的なコースは、霊山こどもの村脇の登山口を出て、国司沢-護摩壇-霊山城跡-望洋台-日暮岩などを巡る約6.2km。所要時間は約3時間。登山口から東物見岩-霊山城跡、さらに霊山寺跡や紫明峰を訪ね、霊山町大石の霊山閣跡などへ抜ける健脚向きの縦走コースもあります。所要時間5時間。

図中の①～⑨ A～Fの詳細説明はP.9以降にあります。



見えて大岩

街と道がつなぐもの

東北中央自動車道は相馬市から伊達・福島両市を経て山形県米沢市を通過し、秋田県横手市に至ります。長らく基本計画区間のまま事業化のめどが立たなかった相馬-福島間は、東日本大震災をきっかけにした東北の復興を目的に、相馬福島道路として整備されました。相馬市と伊達市は古い民謡に「伊達と相馬の境の桜、花は相馬で実は伊達に」と謳われているように、塩をはじめとする海産物、農産物の交易が盛んでした。
現在、米沢といえは上杉鷹山というように上杉15万石の城下町として有名ですが、それ以前は伊達家15代晴宗が伊達郡から米沢に移って、三代にわたって居城、17代政宗はそこで生まれ育ちました。政宗が三春から愛姫（めごひめ）を迎えた時は、三春田村藩より梁川で受け渡しを受け、その後は伊達家の家臣が警護をして米沢に向かいました。
豊臣秀吉の奥州仕置きによって政宗が宮城県岩出山に去った後は伊達郡、信夫郡は四百年にわたる伊達家の支配から離れ、上杉が領有するところとなるなど、極めて関係の深いものがあります。これらは今から四百年の昔であり、当時の道路事情は今では想像もつかないものですが、かなり古い時代から街道は整備されていたからこそ、こうした交流が行われていたのでしょう。



呼ばり石

霊山道先案内会

自然や歴史のガイド付きで霊山トレッキングを楽しみませんか。シーズンを問わず、少人数でも団体でも受け付けています（1週間前までに要予約）。お問い合わせ 伊達市観光案内所 ☎080-4409-4978



伊達の空を飛ぶ

福島県の北部に位置する伊達市。東に阿武隈山系の霊山、北方に宮城県境の山々が遠望できます。山々に囲まれた自然豊かな土地で様々な果樹や野菜が栽培され、四季折々の風景が楽しめます。伊達氏発祥の地であるこのまちの歴史は古く、市内には数々の史跡が点在しています。



A 霊山ボルダーランド

霊山ボルダーランドは、ボルダリングに適した岩(花崗岩)を、できる限り自然なままに登ることがコンセプトで、ほとんどが斜面です。登る際は、十分注意しましょう。

いい汗
かこう

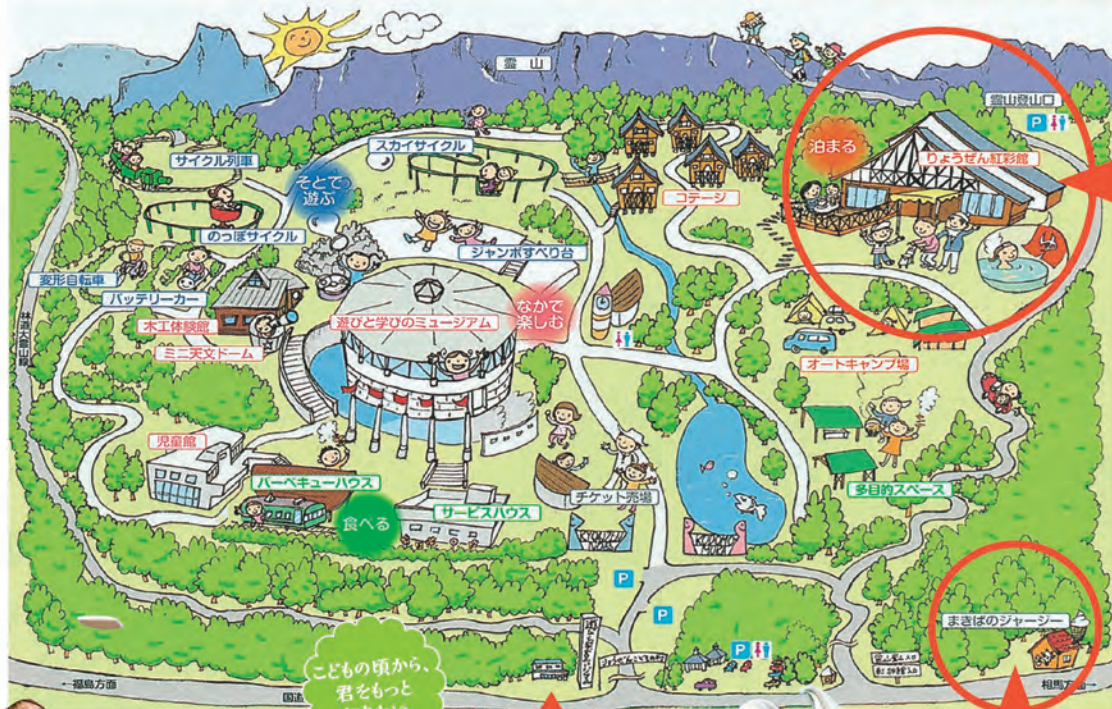
- 所 福島県伊達市霊山町石田地内
- ☎ 024-577-0057
- P 大霊山線沿いの霊山閣登山口に約15台(満車の際は霊山閣内にも約15台可能)
- ※ 霊山閣跡地(仮設トイレ)、霊山パーキング
- ※ 伊達市商工会青年部

霊山太鼓

霊山太鼓は江戸時代寛文年間が始まりといわれる、伝統ある太鼓です。曲目には「通り囃子」や豪快で華やかな「打ち囃子」、しっとりとした「中切り」など変化に富む十数曲を伝えています。見所は「打ち囃子」。最初はウキウキさせ、最後には太鼓の音に魅了されて体を乗り出すほど引き付けます。

桐の太鼓
短いバチが
特徴

☎ 024-586-1041
(セブンイレブン福島霊山店)
※ 霊山太鼓保存会
HP <http://www.5e.biglobe.ne.jp/shinji/index.html>



B りょうぜん里山がっこう

廃校利用の懐かしい木造校舎で、人と人とを結び地域おこしの拠点。パン・ピザ作りの他、初めての人も気軽に体験できるがっこう内のボルダリングや、徒歩20分の里山ポレットボルダーで公開イベント大好評。

- 所 福島県伊達市霊山町大石細倉17
- ☎ 024-587-1032
- ☎ 10:00 ~ 17:00
- 休 月・火曜日(祝日営業) Pあり
- HP <https://date-satoyama.com/>

C 霊山こどもの村

遊んで学べる自然の中の遊園地。アート(文化・芸術)とサイエンス(科学)を「見て・触って・体験する」施設です。なかでも「大きなおおきなシャボン玉」は、大人も子どもも楽しめて写真映えすること間違いなし。

- 所 福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
- ☎ 024-589-2211
- ☎ 9:00 ~ 16:30(最終入園16:00)
- 休 毎週水曜日 Pあり
- ※ りょうぜん振興公社

D いちごから笑顔サイダー

苺の甘酸っぱさを生かした、いちごサイダーは誰でも笑顔になれる飲み物です。

- 所 伊達市霊山町山戸田字上落合42
- ☎ 080-2803-5564 Pあり
- ☎ (カフェ) 10:00 ~ 15:30
- (直売所) 10:00 ~ 17:00 ※ 松葉園



E まきばのジャージー

ジャージーとは、乳量が少ない代わりにカリウム、ビタミンなどの栄養が高い牛乳です。ジャージー牛乳の栄養と風味がそのままなソフトクリームと、果物や野菜を加えた20種類以上のアイスクリームが人気。

- 所 伊達市霊山町石田字川面1-1
- ☎ 024-589-2375
- ☎ 8:30 ~ 17:00
- 休 年中無休 Pあり



F りょうぜん紅彩館

霊山に来たなら休憩はここ。お風呂には、霊山の岩場に太古から自生する薬草・霊山ニンジンが入っています。疲れを癒やし、冷え性・貧血などの薬効が目まぐるしく。山を見上げ料理を食べて、リフレッシュ。

- 所 福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
- ☎ 024-589-2233
- ☎ レストラン 11:00 ~ 14:00(16:00以降は宿泊のお客様のみ)
- 【夏季 4~11月 利用時間10:00~20:00(最終受付は19:00)】
- 【冬季 12~3月 利用時間10:00~18:00(最終受付は17:00)】
- 休 毎月第4水曜 Pあり
- HP <http://kodomo-ryozen.org/kousaikan/>

地球儀アート

霊山こどもの村「遊びと学びのミュージアム」には、110個の地球儀が暗闇に浮かぶ幻想的な部屋が。これは芸術家のインゴ・ギュンターさんの作品で、地球上の政治や経済、環境などのテーマを表現しています。



⑪

県内のその他史跡

国見町 10 ふじ た じょうあと 藤田城跡



国見町教育委員会提供

アクセス JR東北本線「藤田駅」から徒歩で5分
東北自動車道「国見IC」より約6分 所 国見町山崎字北古館地内ほか

南相馬市 11 お だかじょうあと 小高城跡



アクセス JR常磐線「小高駅」から徒歩で10分
所 南相馬市小高区小高字古城36

郡山市 12 う づ みねじょうあと 宇津峰城跡



アクセス 東北自動車道「郡山南IC」より約30分
所 郡山市田村町谷田川

白河市 13 こ みねじょう 小峰城



アクセス JR東北本線「白河駅」から徒歩で5分
東北自動車道「白河IC」より約20分 所 白河市内

頼朝も陣を敷いた平山城

奥州合戦の際、源頼朝はここに本宮を置いて阿津賀志山の戦いにのぞみました。南北朝時代には霊山城の支城となり、南朝方の有力な拠点のひとつでしたが、正平2/貞和3(1347)年、北朝の総攻撃を受け、激戦の末落城しました。

北朝の雄・相馬氏の拠点

北朝についた相馬重胤が、1336年に築城しました。重胤と次男・光胤は顕家卿に敗れますが、嫡男・親胤とその子胤頼は北朝方として戦い続け、勢力を巻き返しました。「相馬野馬追」の騎馬武者は、城跡に建つ相馬小高神社から出陣します。

名峰・宇津峰にある 南朝の山城

福島県郡山市と須賀川市にまたがる宇津峰山に築かれた山城で、南北朝時代には南朝の拠点でした。北畠顕信は、兄の顕家亡き後、南朝方武将が守るこの城を経て、多賀国府の奪還に向かいました。

奥州の関門に建つ名城

小峰城は、南朝方の猛将・結城宗広の長子、親朝が小峰ヶ岡に城を構えたのがはじまりです。江戸時代になると「寛政の改革」で知られる松平定信など7家21代の大名の居城となりましたが、戊辰戦争白河口の戦いで落城しました。

県外の史跡

宮城県 14 た が じょうあと 多賀城跡



アクセス JR東北本線「国府多賀城駅」から徒歩で15分
仙台東部道路「仙台港北IC」より約15分 所 多賀城市市川

奥州の軍事と政治の中心地

神亀元(724)年、大和朝廷が蝦夷を制圧するために設置した城で、陸奥国府と鎮守府が置られました。869年の貞観地震の影響で崩壊しましたが、11世紀前半に軍事拠点として復活、南北朝時代には南朝の国府が置られました。

青森県 15 な み お か じょうあと 浪岡城跡



アクセス JR奥羽本線「浪岡駅」から徒歩で30分
JR「浪岡駅」からバスで5分 所 青森市浪岡大字浪岡字五所14-1

浪岡北畠氏が治めた城跡

15世紀中頃に、北畠親房、顕信の子孫によって築城されたといわれています。16世紀前半に全盛期を迎え、都と盛んに交流していましたが、親族間の争いで勢力が衰えたところを大浦(津軽)為信に攻められ落城しました。

青森県 16 ね じょうあと 根城跡



アクセス JR八戸駅前バス停乗車、根城博物館前バス停下車すぐ
八戸自動車道「八戸IC」より約10分 所 八戸市大字根城字根城47

約300年にわたる南部氏の城

顕家卿の重臣、南部師行が建武元(1334)年に築城したといわれ、約300年にわたり南部氏が治めました。顕家卿が「奥州平定の根の城」と完成を祝ったのにちなんで根城と名付けたと伝えられています。

大阪府 17 あ べ の じん じゃ 阿部野神社



アクセス 南海本線・高野線「岸里玉出駅」下車、東へ徒歩5分
阪神高速15号堺線「玉出IC」より約10分 所 大阪府阿倍野区北畠3-7-20

北畠親房卿・顕家卿を祀る

北畠親房卿・顕家卿をご祭神とし、1882年阿部野神社と号して別格官幣社に列せられた神社。鎮座地は顕家卿が足利軍と戦った古戦場であり、神社の近くに顕家卿のお墓と伝わる墓碑があります。建武中興十五社の1社に数えられる神社です。

く にんづか 九人塚の伝説

顕家卿亡き後、顕家夫人をはじめとする武将の妻や姫君9人は、霊山城を出て落ち延びようとしたが、月館町細布の三拍子で力尽き自害したと伝えられています。悲しんだ村人は、塚を作って亡きがらを丁寧に葬り、椿を植えて霊をなぐさめたといわれています。



けん む ちゅうこうじゅうご しゃ 「建武中興十五社」とは?

明治維新によって天皇が政治の実権を取り戻すと、天皇中心の世を目指した建武の新政をたたえる声が強くなりました。新政に尽くした南朝側の皇族や武将は神社に祀られ、中でも後醍醐天皇をはじめとする中心人物を祀った15の神社は、建武中興十五社と呼ばれています。



お で ひめ 養蚕を伝えた小手姫様

福島に養蚕を伝えたのは、崇峻天皇の后・小手姫といわれています。天皇を政変で亡くし、落ち延びた蜂子皇子を追ってたどり着いた月館町で、村人に養蚕と機織りを教えたそうです。

